

# 教員プロフィール

平成 29 年 5 月 30 日

日本医療科学大学

所属学科・専攻	保健医療学部	看護 学科	在宅看護学領域
氏 名	花里 陽子	職 位	准教授
学 位	修士(老年学) 桜美林大学		
資 格	看護師		
略 歴	<p>学歴</p> <p>平成22年3月 桜美林大学大学院老年学研究科老年学専攻(博士前期課程修了)</p> <p>平成27年4月 国際医療福祉大学博士課程 保健医療学専攻入学</p> <p>平成29年4月 国際医療福祉大学博士課程 保健医療学専攻在学中</p> <p>職歴</p> <p>平成22年4月 人間総合科学大学保健医療学部看護学科助教</p> <p>平成27年4月 神奈川工科大学看護学部看護学科助教</p> <p>平成28年4月 日本医療科学大学保健医療学部看護学部講師</p> <p>平成29年4月 日本医療科学大学保健医療学部看護学部准教授</p>		
担当講義	在宅看護学概論、在宅看護学援助論、在宅看護学実習、チーム医療演習Ⅰ、医療安全管理演習、看護学セミナー、看護研究		
専門分野	在宅看護学		
研究テーマ	<ol style="list-style-type: none"> <li>一人暮らし高齢者に関する研究</li> <li>障害をもつ対象者を介護する家族に関する研究</li> <li>高齢者施設における看取りに関する研究</li> <li>在宅における終末期ケアに関する研究</li> </ol>		
主要業績	<p>論文(2014年～)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>佐藤美由紀, 山科典子, 安齋沙保理, 植木章三, 柴喜崇, 新野直明, 渡辺修一郎, 花里陽子, 芳賀博: 行政および在宅医療の視点における都市部の地域包括ケアシステム構築における課題と方策, 応用老年学会, 8(1), 63-73, 2014.</li> <li>花里陽子, 芳賀博: 都市部の要介護独居高齢者の主観的健康感に関連する要因, 人間総合科学大学紀要, 26, 127-132, 2014.</li> <li>花里陽子, 秋山純和, 霍明, 他: 中国におけるリハビリテーションセンター入院中の患者家族の介護不安に関する調査, 神奈川工科大学研究報告, 40, 81-86, 2016.</li> <li>花里陽子, 秋山純和, 霍明, 他: 脳血管疾患患者のADLと家族介護不安-中国におけるリハビリテーションセンター入院中の患者家族への調査, 理学療法科学学会, 31(3), 423-427, 2016.</li> <li>花里陽子, 芦谷知子: 高齢者の在宅看取りに関する実態調査-5年間の訪問看護記録から-, 死の臨床研究会, 69, 2017.</li> </ol> <p>学会発表(2014年～)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>Yoko Hanazato, Sumikazu Akiyama, Ming Huo, et al : Investigation of the patient during hospitalization at rehabilitation center in China regarding anxiety about family care, The 15th International Meeting of Physical Therapy Science, Beijing, 2015.</li> <li>Yoko Hanazato, Sumikazu Akiyama, Ming Huo, et al : Cerebrovascular Disease Patients on Activities of Daily Living and Family Care-givers' Anxieties : A Survey of Families of In-patients in a Rehabilitation center in China, China International Rehabilitation Forum, Beijing, 2015.</li> <li>芦谷知子, 花里陽子: 在宅における看取りの現状と課題-訪問看護ステーションにおける過去4年間の訪問看護記録の分析-, 第39回日本死の臨床研究会年次大会, 2015.</li> <li>芦谷知子, 花里陽子: 在宅看取りの現状と課題-5年間の訪問看護記録の分析から-, 第30回栃木県緩和ケア研究会, 2016.</li> <li>芦谷知子, 花里陽子: 終末期ケアに関する訪問看護師の意識調査, 第40回日本死の臨床研究会年次大会, 2016.</li> </ol>		
所属学会	日本在宅看護学会、日本在宅ケア学会、日本死の臨床研究会、老年看護学会、理学療法科学学会、日本ホスピス・在宅ケア研究会		
社会活動等	NPO法人緩和ケアサポートグループ		
在学生に一言	在宅看護学では、「病い」や「障がい」、「老い」と共に生きる人々が、住み慣れた在宅で「生活」を継続するために必要な援助を学びます。小児から高齢者、介護する家族、また慢性疾患から看取りまでと多様な対象への訪問看護の実際から、生活を支える看護について考えていきましょう。		
受験生に一言	看護師が活躍する場合は、病院などの医療機関だけでなく、訪問看護ステーションなど地域に広がっています。訪問看護について一緒に学んでいきましょう。		